

町田市教育プラン 2019-2023



1 第 1 期及び第 2 期の町田市教育プランについて

- 町田市教育委員会では、2009 年 2 月に町田市の教育振興基本計画として第 1 期「町田市教育プラン」を策定しました。また、2014 年 2 月には、第 1 期の計画を改定し、2018 年度までを計画期間とする第 2 期「町田市教育プラン」を策定しました。
- 第 2 期「町田市教育プラン」に基づき、学力向上や地域と協働した学校づくり、あらゆる世代を対象とした学習支援等に重点的に取り組み、教育行政を推進してきました。

2 計画策定の主旨 ～変化の時代を見据えて～

- 町田市の人口は、2020 年度をピークに減少することが見込まれ、今後年少人口（0 歳～14 歳）も急激に減少すると予測されています。
- 2030 年頃には、A I（人工知能）*に代表される技術革新やグローバル化*の一層の進展に伴う産業構造や社会の大きな変化が予想されています。
- 核家族化や単身世帯の増加、人口構成の急激な変化や人々の意識の変化により、家族や社会の在り方が変容しています。
- 子どもの貧困や教員の多忙化が社会問題となるなど、教育を巡る環境は、複雑化・多様化しています。



このような状況を踏まえ、これまでの取組による成果や課題を振り返り、町田市が目指す教育の姿の実現に向けて、今後 5 年間の施策の方向性を示す「町田市教育プラン 2019-2023」を策定します。

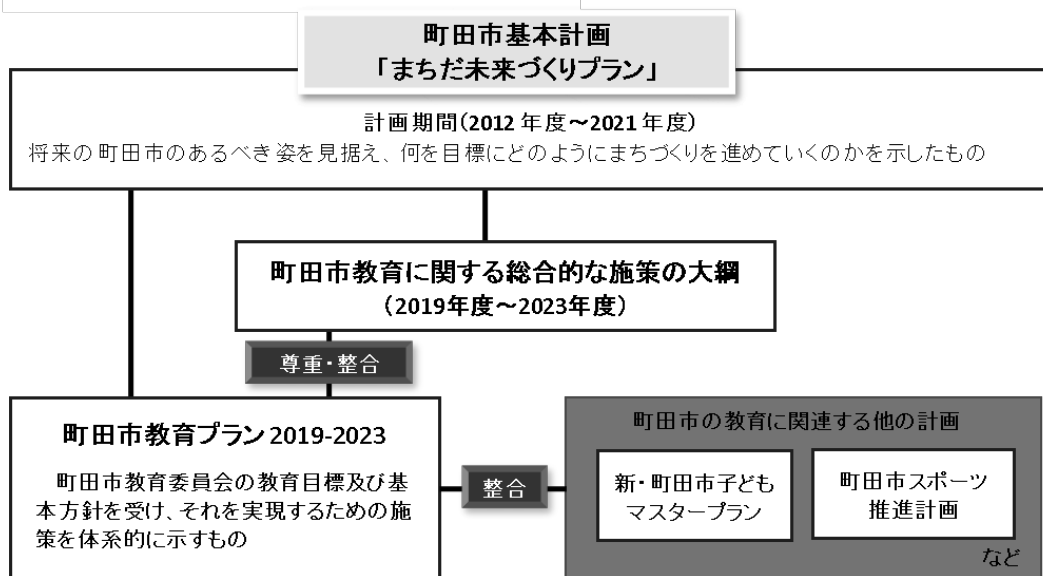
3 計画の位置づけ

- 本計画は、教育基本法第 17 条第 2 項に基づく「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」とします。
- 本計画は、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」及び「町田市教育に関する総合的な施策の大綱」を尊重し、整合を図ると同時に、町田市の教育に関連する他の計画と整合を図ります。

* A I（人工知能）：人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術のこと、または人間の知的営みを行うことができるコンピュータプログラムのこと。

* グローバル化：政治・経済、文化など、様々な側面において、従来の国家・地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。

■各計画と町田市教育プラン2019-2023との関係



4 計画期間

計画期間は、2019年度から2023年度までの5年間です。

5 計画の構成

町田市教育プラン2019-2023は、町田市教育委員会の「教育目標」と「基本方針」を受け、それを実現するための施策、課題解決に向けて重点的に取り組む事業である重点事業からなります。

6 計画の推進

計画の進行管理

本計画により推進する施策については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、毎年度、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その実施状況を公表し、その結果を次年度の取組に活かします。

関係部局・関係諸機関等との連携

多様化した諸課題に対応するため、教育委員会事務局以外の関係部局、関係諸機関との連携を図りながら、情報の共有化、協力体制の充実などに取り組めます。

情報発信

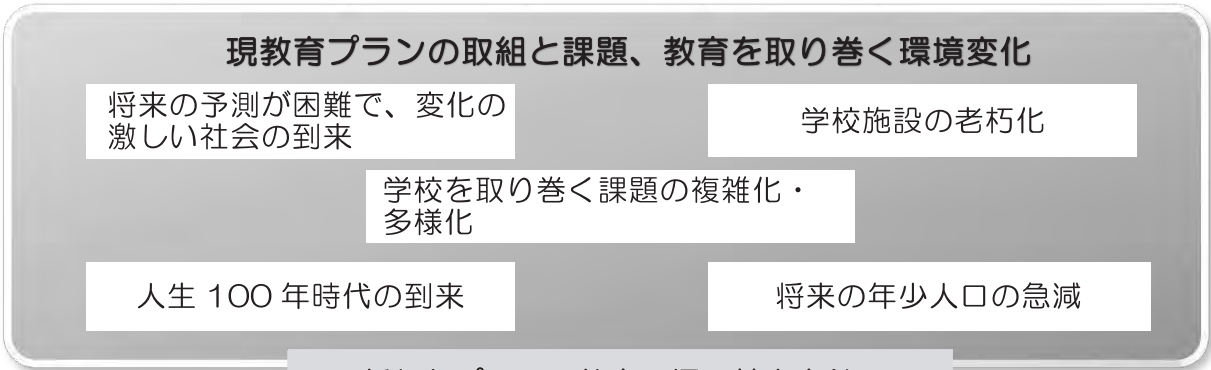
町田市が目指す教育の方向性を共有するため、広報紙、市のホームページなどを活用して、施策に関する情報を積極的に発信していきます。

新たな課題への対応

計画を推進する中で、対応すべき新たな課題が生じた場合は柔軟に対応していきます。

1 町田市教育プラン 2019-2023 の教育目標と基本方針

第2期「町田市教育プラン」の取組と課題や教育を取り巻く環境変化を踏まえて、教育目標と4つの基本方針を以下のとおり定めます。



新たなプランの教育目標・基本方針

教育目標

**夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。
生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。**

町田市教育委員会は、人権尊重の理念を基盤とし、次代を担う子どもたちが、大きな変化が予測されるこれからの社会の中において、夢や志をもち、自ら学び、自ら考え、目標に向かってたくましく生きることのできる力を育むことを目指します。

また、子どもも大人も誰もが、生涯にわたり自ら学び、その成果を活かすことで、人と人とのつながりを生み出していく地域社会の構築を目指します。

基本方針Ⅰ

学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

- ①新たな時代に必要な資質・能力を育みます。
- ②「生きる力」を町田ならではの取組により育みます。

基本方針Ⅱ

充実した教育環境を整備する

- ①一人ひとりの能力・可能性を育てます。
- ②学校のマネジメント力を強化します。
- ③将来を見据えた学習環境の整備を進めます。

基本方針Ⅲ

家庭・地域の教育力を高める

- ①地域による学校への「支援」から「連携・協働」へ活動を発展させます。
- ②保護者の学びや育ちを支援します。

基本方針Ⅳ

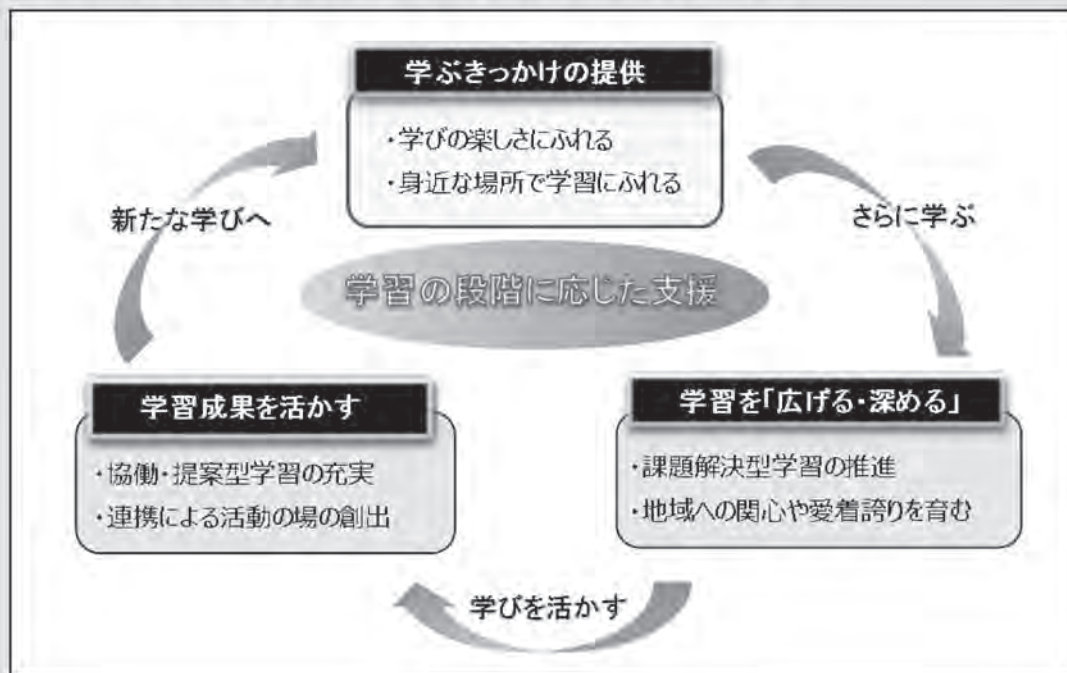
生涯にわたる学習を支援する

- ①一人ひとりの学習段階に応じた支援を行います。
- ②学習を支える環境づくりを進めます。

基本方針Ⅳ 生涯にわたる学習を支援する

①一人ひとりの学習段階に応じた支援を行います。

市民一人ひとりが学びに興味や関心をもち、自分にあった学習活動を行えるよう、また、その成果を市民生活や地域社会における課題の解決につなげていくことができるよう、段階に応じた学習支援を行っていきます。



②学習を支える環境づくりを進めます。

市民一人ひとりの多様な学習を将来にわたって支援していくための環境を整備していきます。

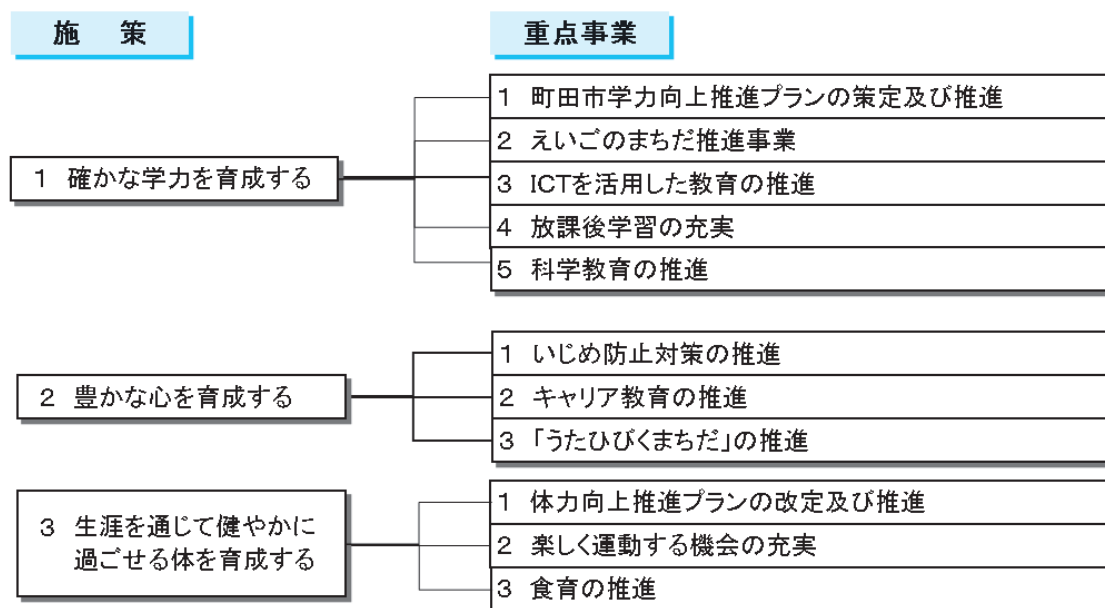
- 学習事業を展開する多様な主体とのネットワークづくりを進め、連携・協働による取組の充実を図ります。
- 誰もが学べる環境を整備するため、学びに対する支援を必要とする人への学習機会を充実します。

町田市教育プラン 2019-2023 の体系図

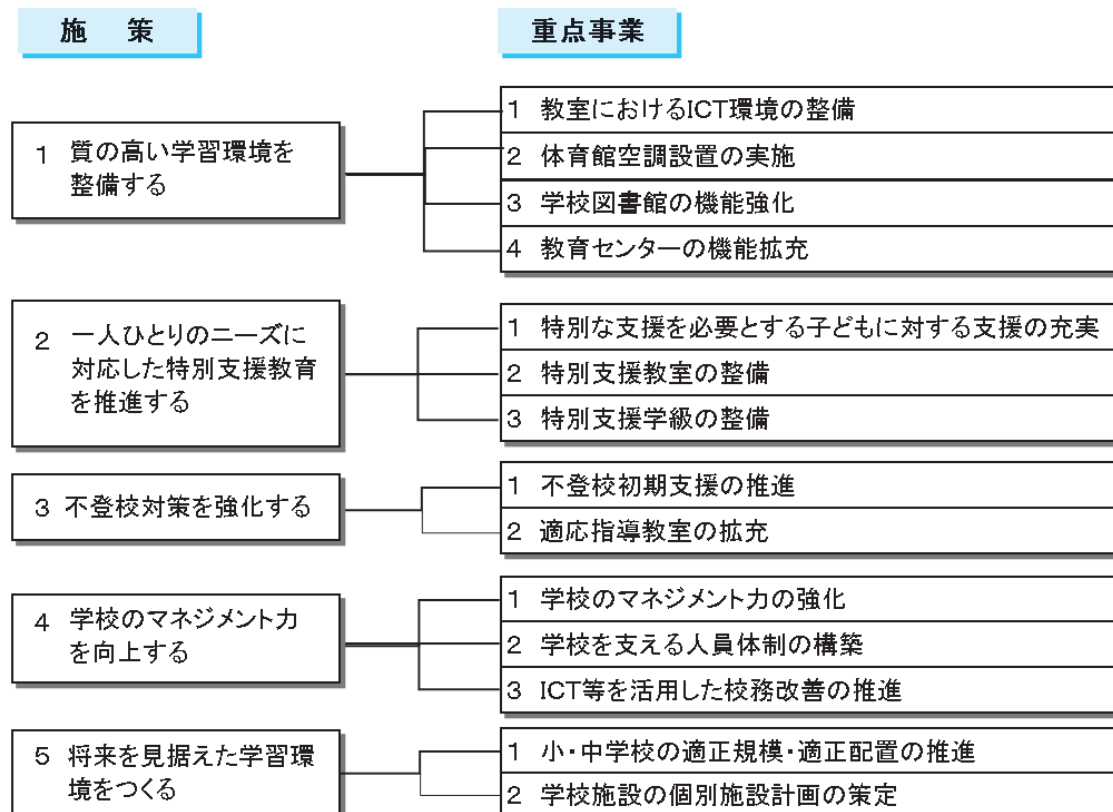
教育目標

- 夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。
- 生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。

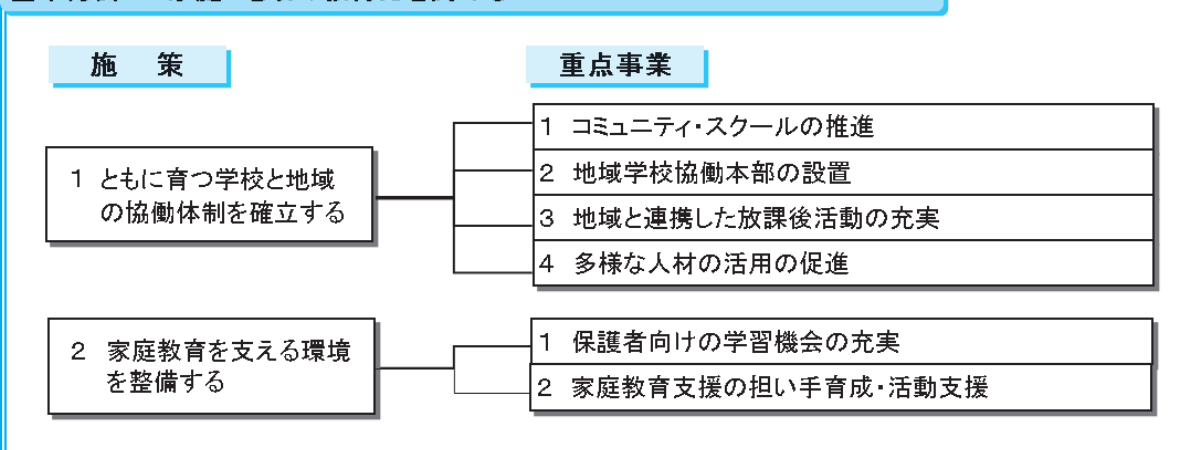
基本方針Ⅰ 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす



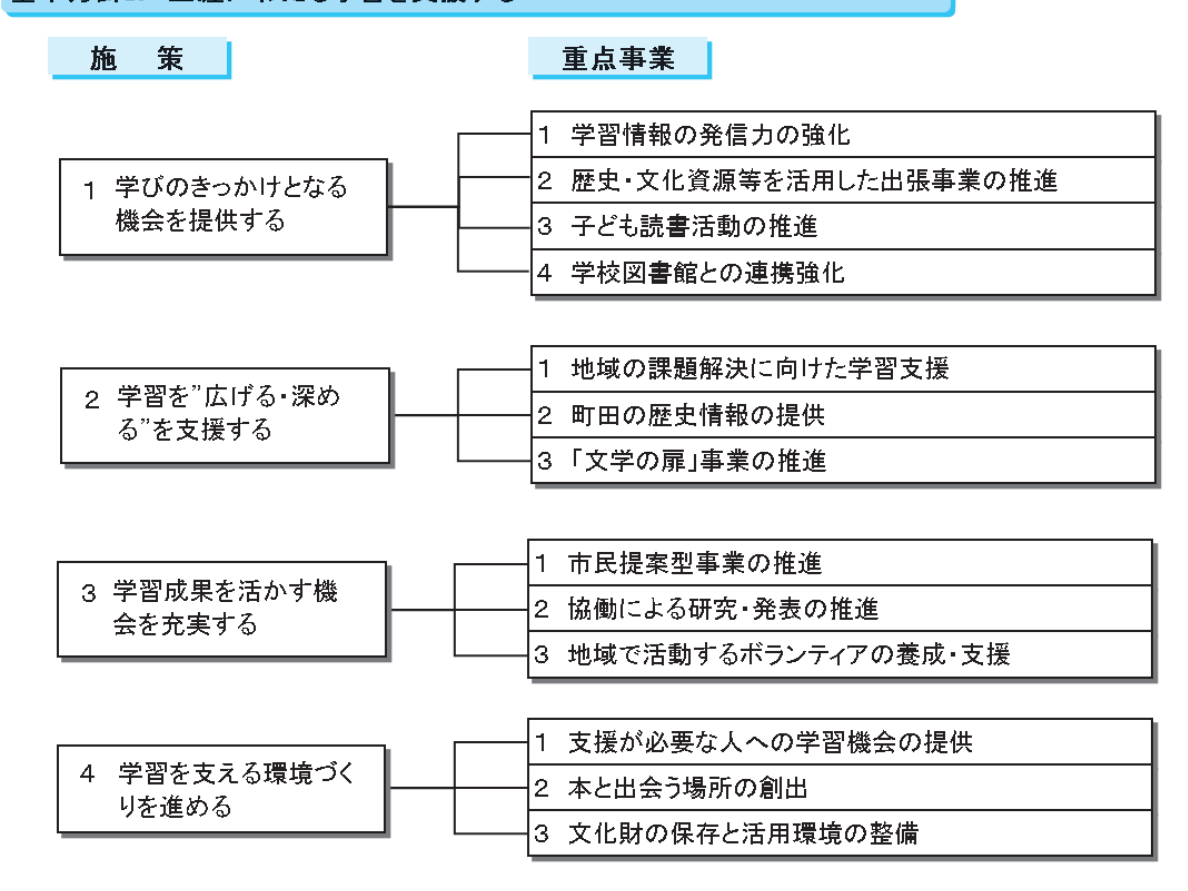
基本方針Ⅱ 充実した教育環境を整備する



基本方針Ⅲ 家庭・地域の教育力を高める



基本方針Ⅳ 生涯にわたる学習を支援する



基本方針Ⅳ 生涯にわたる学習を支援する

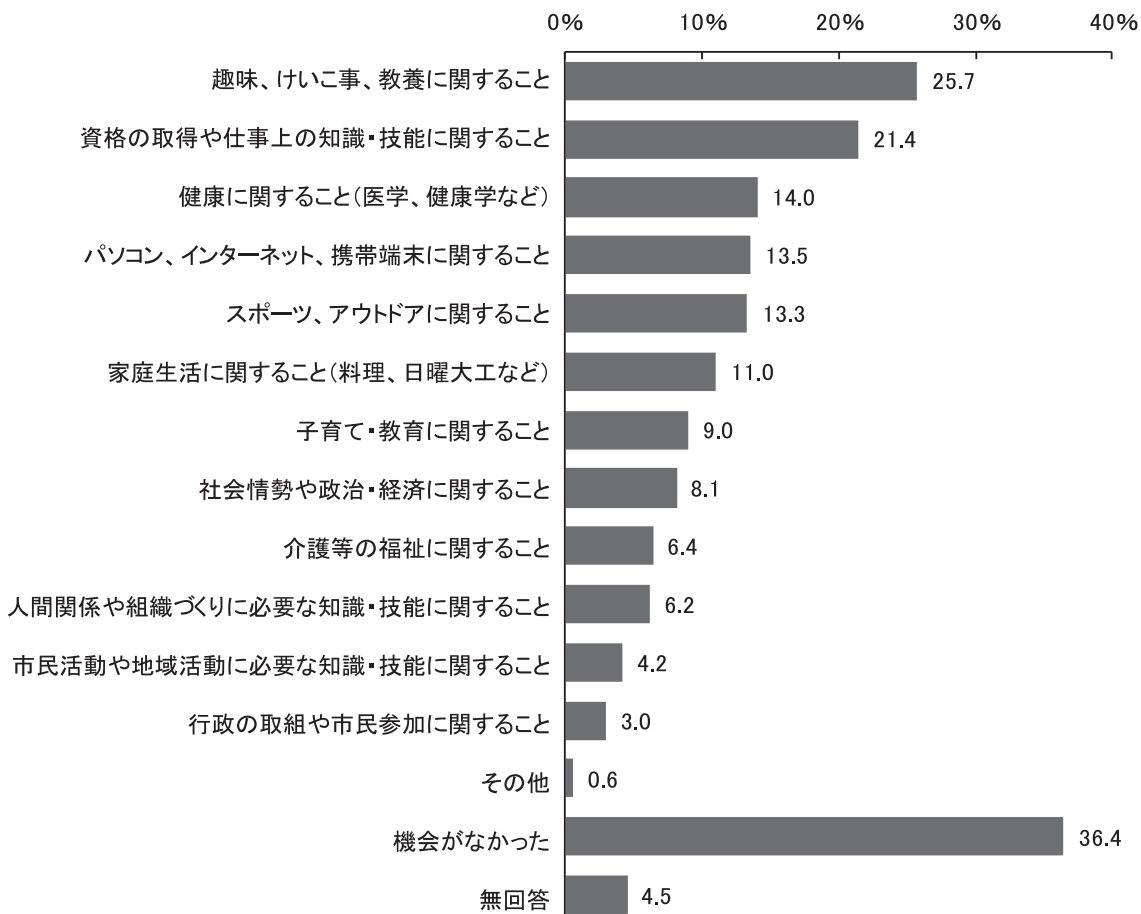
施策1 学びのきっかけとなる機会を提供する

〈現状と課題〉

- ・学習は、知識や技能等の習得だけでなく、日常生活の楽しみや心の豊かさにつながるほか、人間関係の構築や視野の拡大、生活課題や地域課題の解決等、続けていく中で様々な効果をもたらすことが期待されるものです。
- ・市の生涯学習施設の認知度は低く、施設の利用者数や主催事業の参加者数は伸び悩んでいる状況です。そのため、生涯学習への関心を高め、継続的な学びにつなげていくきっかけとなるよう、学習の魅力を多様な手法で発信していく必要があります。
- ・歴史や文化にふれることは、その地域を知り、愛着や誇りを生むきっかけとなります。そのため、より身近に町田市の歴史や文化にふれられる機会を提供する必要があります。
- ・学年が上がるにつれ、子どもが本を読む機会は少なくなる傾向にあります。そのため、子どもの頃から魅力的な本が身近にあり、読書習慣を身に付けられる環境づくりを進める必要があります。

【関連データ】

○習得した知識や技能

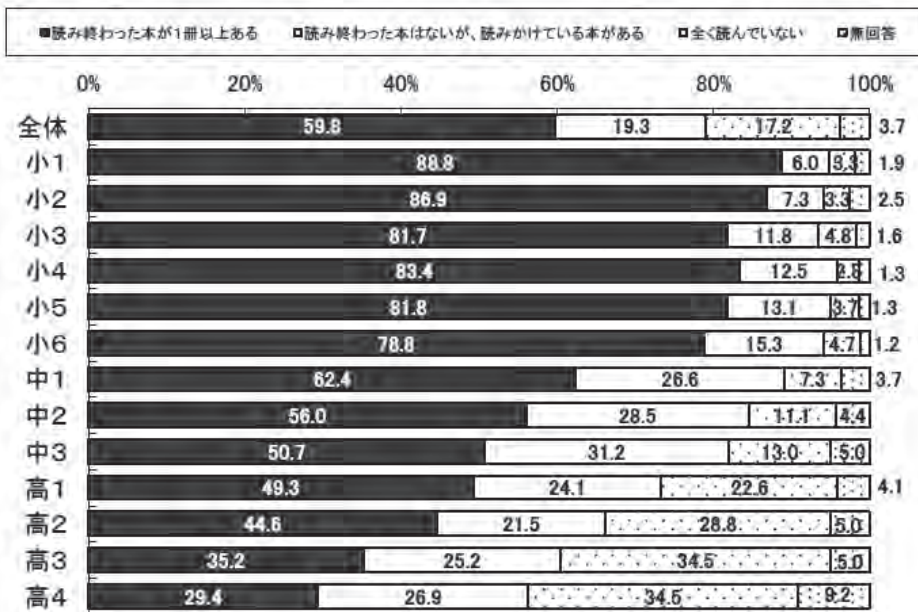


この1年間に知識や技能を習得する機会がなかった人の割合が3割を大きく上回る。

<出典>町田市生涯学習に関する市民意識調査(2017実施)

【関連データ】

○ここ1か月での読書頻度



学年が上がるにつれ、本を読む機会が少なくなる傾向にある。

<出典>児童・生徒の読書に関する状況調査(東京都・2017)

〈施策の方向性〉

○生涯学習に関する情報や資料を収集・提供します。

・市民一人ひとりが自分に合った学習機会を選択することができるよう、近隣で開催される講座やイベント、展覧会等の情報を幅広く収集し、提供します。

○市民が参加できる講座・講演会等の情報をまとめた情報誌
「生涯学習NAVI | 好き! 学び!」



○身近な場所で学習にふれる機会を提供します。

・地域図書館や市民センターなどの市内各地の公共施設を会場に、出前講座や出張展示などを展開します。

○子どもセンターばおで開催したさがまちコンソーシアムとの共催事業
「子ども体験講座 クリスマス飾りを作ろう」



○学びの楽しさにふれる機会を提供します。

- ・生涯学習を身近に感じ、学ぶことの楽しさを感じてもらえるような学習事業を企画・実施していきます。
- ・おはなし会や体験講座などを通じ、本や文学、ことばなどの魅力やおもしろさにふれる機会を提供します。



○生涯学習ボランティア*が講師となって講座を行う
「生涯学習ボランティアバンクー日体験講座」



○未就学児とその保護者を対象とした「ことば」の体験講座

目指す姿(成果指標)

成果指標	現状値(2017年度)	目標値(2023年度)
この1年間に知識や技能を習得する機会があった市民の割合 〔町田市生涯学習に関する市民意識調査*〕	59%	70%

〈重点事業〉

- IV-1-1 学習情報の発信力の強化
- IV-1-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進
- IV-1-3 子ども読書活動の推進
- IV-1-4 学校図書館との連携強化

*生涯学習ボランティア：自身の知識や経験、特技などを活かして、ボランティアとして市民のサークル活動や学習活動を支援していただく人のこと。生涯学習センターでボランティア登録及び市民グループへの橋渡しを行っている。

*町田市生涯学習に関する市民意識調査：教育プラン策定にあたっての基礎資料とすることを目的に町田市教育委員会で実施する市民意識調査のこと。2017年度に実施した調査では、市民の生涯学習に関する意識や行動、生涯学習施設の利用状況等について調査している。

■重点事業Ⅳ-1-1 学習情報の発信力の強化	生涯学習センター
------------------------	----------

事業概要	学習情報をより多くの市民に提供できるよう、町田市ホームページモバイル（スマートフォン版）の学習情報誌「生涯学習NAVI」の利用促進を図ります。さらに、他団体で発信している情報誌やホームページなどの情報発信媒体との連携を図り、情報発信力を強化します。				
これまでの取組	ホームページや「生涯学習NAVI」の内容を見直しました。また、学習情報に関するポータルサイトの構築に向けて検討しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けた取組の実施		未実施	実施（2020年度）	
	新たな情報発信媒体の活用		未実施	活用（2021年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	利用促進に向けた手法の検討	スマートフォン版「生涯学習NAVI」の利用促進に向けた取組の実施・検証			
	情報発信媒体の把握・検討	媒体活用に向けた調整	新たな媒体の活用・検証		

■重点事業Ⅳ-1-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進	生涯学習総務課・図書館
---------------------------------	-------------

事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習総務課では、市庁舎イベントスタジオでの東京文化財ウィークに合わせた企画展示や青少年施設ひなた村などでの文化財の展示を行うほか、自治体主催の歴史講座や大学の講義、中学校の歴史の授業などでの出張講義を行っています。 文学館では、小学校での出張講座として、町田ゆかりの俳人の紹介と俳句クイズを行う「俳句であそぼう！」や、市庁舎イベントスタジオでの出張展示を実施しています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	出張事業（展示・イベント・講座等）の実施件数		28件	40件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		

■重点事業Ⅳ-1-3 子ども読書活動の推進	図書館
-----------------------	-----

事業概要	生涯にわたって主体的に読書をする習慣を身に付けることができるよう、子ども読書活動の推進に関する全市的な取組をまとめた「第四次町田市子ども読書活動推進計画（2020年度～2024年度）」を策定・推進します。特に、子どもの読書活動に合わせた図書資料の充実とともに、小学校英語の教科化などの動向を踏まえ、外国語の絵本・児童書を重点的に整備します。				
これまでの取組	第三次町田市子ども読書活動推進計画（2015年度～2019年度）に基づき、庁内各部署で計32の取組を実施するとともに、計画の進捗管理を「子ども読書活動推進計画推進会議」を通じて行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	第四次町田市子ども読書活動推進計画の策定		第三次計画に基づく事業の実施	策定完了（2019年度）	
	外国語の絵本・児童書の蔵書数		3,966冊	6,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	第四次計画の策定	第四次計画に基づく事業の推進 推進会議を通じた事業の進捗確認の実施			
	外国語の絵本・児童書の計画的購入・活用 利用状況等の検証				

■重点事業Ⅳ-1-4 学校図書館との連携強化	図書館
------------------------	-----

事業概要	小・中学校の学校図書館への支援や子どもの読書活動を充実させるために、図書館から学校図書館への貸出のしつみを改善するなど、支援方法を見直して、学校図書館と図書館との連携を強化します。				
これまでの取組	さるびあ図書館を拠点に、「学校図書館支援貸出」（しらべ学習等に対応して、図書館が選書を行って提供する）により、小・中学校の学校図書館へ車で配本するサービスを行っています。また、学校図書指導員への研修に協力しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	学校図書館支援貸出利用校数		35校	42校	
	学校図書館支援貸出数		3,768冊	4,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	学校図書館支援貸出の実施				
	新たな支援方法の検討	貸出方法等の改善 新たな支援の実施			支援内容の検証

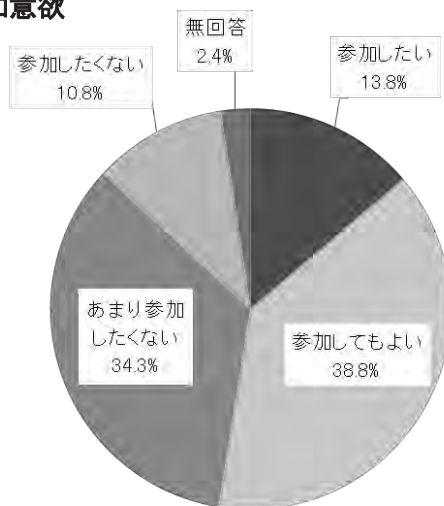
施策2 学習を“広げる・深める”を支援する

〈現状と課題〉

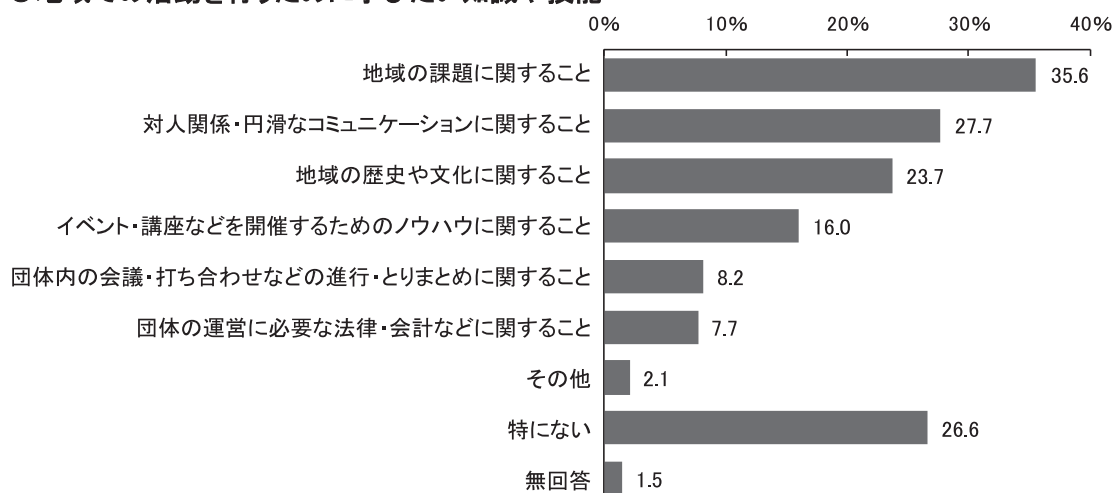
- ・ 市民一人ひとりが自分に合った学習を継続的に行い、学びを深めていってもらえるよう、学習の段階や課題に応じた多様な支援を行っていく必要があります。
- ・ 各地域には、様々な分野の課題があり、これらの課題を解決するためには、地域の実情に応じたまちづくりに住民自らが取り組んでいくことが重要です。そのためには、住民一人ひとりが地域に関心や愛着をもち、学び合いながら知識や技能等を習得していくことが必要です。
- ・ 市民活動や地域活動に参加する人の割合は高くないものの、参加に前向きな市民は多く、また、活動を行うための学習へのニーズが高まっています。
- ・ 多くの方が、地域の歴史や文化を学ぶことに関心があり、町田市の歴史や文化を活かした学習事業を充実する必要があります。

【関連データ】

○地域での活動への参加意欲



○地域での活動を行うために学びたい知識や技能



町内会・自治会、子ども会などの地域活動への参加に積極的な層が5割を超える。そのうちの約7割の人が、活動をするために学びたい知識や技能があると回答している。

<出典>町田市生涯学習に関する市民意識調査(2017実施)

〈施策の方向性〉

○課題解決型学習を推進します。

- ・日常生活の中で生じる様々な課題に対応していけるよう、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた学習機会を提供します。
- ・地域の課題解決に向けた活動に役立ててもらえるよう、多様化する地域の課題に対応した学習機会を提供します。
- ・地域で課題解決に向けて活動する団体等に、関係機関等とのコーディネートや、学習に関する情報や資料の提供など、学習的側面からの支援を行います。



○鶴川地区協議会との共催による
「地域レポーター養成講座」

○地域への愛着や誇り、関心を育む学習を推進します。

- ・地域への愛着や誇り、関心を育むことができるよう、町田市の歴史や文化について学ぶ機会を提供します。
- ・市民はもとより、市外の人にも町田の歴史や文化の魅力を感じてもらえるよう、町田市の歴史・文化資源にふれられる機会を充実するとともに、魅力を伝えるための仕組みづくりを進めます。



○「妖怪」というテーマから文学や町田という地域を知るきっかけとなるよう実施した文学館の展覧会



○市内最大の遺跡である忠生遺跡について紹介した「忠生遺跡フェス」

目指す姿(成果指標)

成果指標	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
学びたい知識や技能を十分に習得できている市民の割合 〔町田市生涯学習に関する市民意識調査〕	32%	40%

〈重点事業〉

- IV-2-1 地域の課題解決に向けた学習支援
- IV-2-2 町田の歴史情報の提供
- IV-2-3 「文学の扉」事業の推進

■重点事業Ⅳ-2-1 地域の課題解決に向けた学習支援	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	地区協議会*をはじめとした地域団体や関係機関と連携・協働しながら、住民自らが課題を見つけ出し、解決に向けて行動できるよう学習支援を進めていきます。				
これまでの取組	鶴川地区の交流促進や様々な困りごとの相談の場となっている鶴川地区協議会主催「3水スマイルラウンジ」にて「学びのひろば」を共催し、地域の歴史や文化を理解する講座などを実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	連携事業を実施した地区協議会の数（累計）			1地区	5地区
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各地区協議会への働きかけ				
	地区協議会との連携事業の検討・実施・検証				

■重点事業Ⅳ-2-2 町田の歴史情報の提供	生涯学習総務課
-----------------------	---------

事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「町田デジタルミュージアム*」を構築し、公開します。				
これまでの取組	—				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	町田デジタルミュージアム構築の進捗			未実施	システム構築完了・公開（2022年度）
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	歴史資料分 構築・公開	考古資料分 構築・公開	考古及び 民俗資料分 構築・公開	公開	
	歴史コンテンツ編集				

*地区協議会：地域住民の生活全般に関わっている町内会・自治会と民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会のほか、教育・福祉・防犯・防災・健康・環境等の多様な専門分野で活躍する地区内の各種団体が一つのテーブルに集まり、地区の情報を共有し、地区の課題について話し合い、取り組むべき事業を自ら選択し、事業を実施するための組織のこと。

*町田デジタルミュージアム：町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにする仕組みのこと。

事業概要	より多くの市民に文学やことばに親しんでもらえるよう、町田ゆかりの作家の紹介や文字・ことばの魅力伝える展覧会を、ことばに関連する他ジャンルを幅広く取り込みながら、より柔軟で多様な内容により実施します。また、若年層を対象とした創作活動などの学習事業を充実します。				
これまでの取組	町田ゆかりの作家を紹介する展覧会を中心に年4回の企画展を実施しています。また、0歳児・1歳児対象のおはなし会「ちちんぷいぷい」や小学生対象の俳句実作講座「子ども俳句教室」、一般対象の文学やことばに関する講演会など、ライフステージに合わせた学習事業を実施しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）		目標値（2023年度）	
	展覧会を通じ、新たな興味や学習意欲につながった人の割合（観覧者アンケート）	84%		90%	
	中高生から20歳代を対象とした事業数	1事業		3事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	展覧会の実施、内容の検証・改善				
	若年層対象事業の実施・検討	若年層対象事業(2事業)実施		若年層対象事業(3事業)実施	

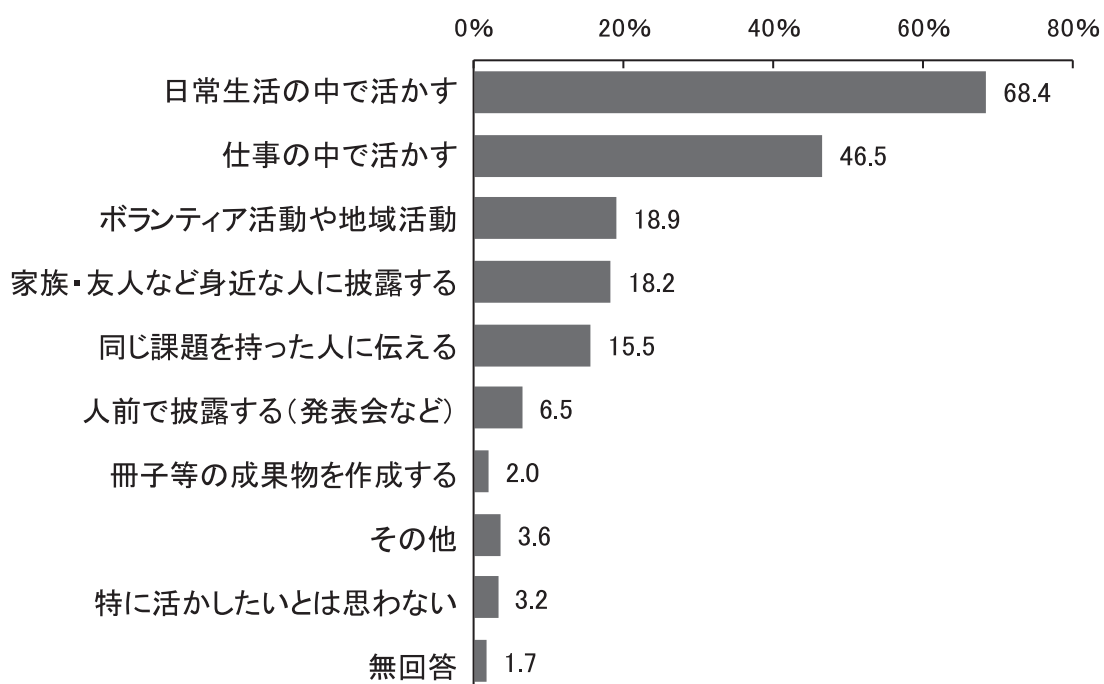
施策3 学習成果を活かす機会を充実する

〈現状と課題〉

- ・生涯学習は、個人の生活を豊かにすることはもとより、その成果が地域の中で活かされることによって、地域づくりに寄与することにつながります。
- ・地域では様々な学習活動が展開されており、様々な知識や技能等をもった人がたくさんいます。学びを深めた人たちが、学んだ成果を活かした活動を地域の中で展開することで、市民同士の学び合いの輪がさらに広がるのが期待できます。
- ・学習成果を自身の日常生活だけでなく、他者のために活かしたいというニーズが高まっていますが、学習者と学習成果を活かせる場とのマッチングが十分に行われているわけではありません。そのため、学習者が習得した知識や技能等を活かして活躍できる機会にめぐり合えるよう、市民の学習成果や提案をもとにした学習事業を充実するなど、多様な支援を行っていく必要があります。

【関連データ】

○知識や技能の活かし方



今後習得したいと考えている知識や技能をどのように活かすかという問いに対し、ボランティア活動や地域活動、同じ課題を持った人に伝えるなど、他者のために活かすことに対するニーズがある。

<出典>町田市生涯学習に関する市民意識調査(2017実施)

〈施策の方向性〉

○市民協働・市民提案型の学習事業を充実します。

- ・市民の学習成果や発想を活かし、市民と行政が協力して企画・運営する学習事業を充実します。

○市民提案型事業「まちチャレ」で実施した「初めてのソフトダーツ体験講座」



○学習成果を地域で活かすための支援を行います。

- ・市民に学習成果をより効果的に地域で活かしてもらえるよう、市民活動や地域活動などを行う際に必要な知識や技能を習得できる機会を提供します。
- ・地域で活動している団体が、活動するうえで必要となる学習情報や資料等を提供します。

○生涯学習ボランティアバンク登録者を対象としたスキルアップ講座



○関係機関と連携し、学んだ成果を活かす場につなげます。

- ・イベント、展覧会、刊行物の発行など、学んだ成果を活かせる機会を創出します。
- ・市役所各部局や公益団体や大学、NPO法人などとの連携により、学習者と学んだ成果を活かす場とのマッチングを行います。

○町田・相模原地域の学生で構成される「さがまち学生club*」が町田市主催の「食育フェア」に参加



目指す姿(成果指標)

成果指標	現状値(2017年度)	目標値(2023年度)
この1年間に市民活動(ボランティアやNPOなど)や地域活動(町内会・自治会、子ども会など)に参加した市民の割合 〔町田市生涯学習に関する市民意識調査〕	45%	50%

〈重点事業〉

- IV-3-1 市民提案型事業の推進
- IV-3-2 協働による研究・発表の推進
- IV-3-3 地域で活動するボランティアの養成・支援

*さがまち学生club：町田・相模原地域の学生が地域活性化及びまちづくりにつながる活動を企画・実施していく学生主導型の体験プロジェクトのこと。地域情報誌さがまちの作成、地域イベント・お祭りでの企画運営、メディアを利用したPR活動、特産品の開発などを通じて、地域のまちづくりに参画している。

重点事業Ⅳ-3-1 市民提案型事業の推進	生涯学習センター
-----------------------------	----------

事業概要	学習ニーズをより反映させた内容となるよう、市民団体の提案を基に地域課題の解決につながる学習講座を提案者とともに作り上げていく市民提案型事業「まちチャレ」を拡充します。				
これまでの取組	地域で活動する学生団体が企画・運営する学生活動報告会を開催するとともに、市民提案型事業「まちチャレ」を開始しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	市民提案型事業「まちチャレ」で実施する講座数		5講座	8講座	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5講座実施	6講座実施		7講座実施	8講座実施
	事業実施体制の整備				

重点事業Ⅳ-3-2 協働による研究・発表の推進	生涯学習総務課・図書館
--------------------------------	-------------

事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元していただくことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権資料館では、古文書講座や自由民権カレッジなどの修了生が組織する歴史研究グループの研究活動を支援しています。また、資料館で収蔵する史料の整理の一部を学生ボランティアの協力により行っています。 ・文学館では、2年を任期として市民がテーマを設定して研究を進める「市民研究員制度」を実施しています。また、市民研究員との協働により定期的に研究成果物を刊行し、研究発表の支援を行っています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	研究成果物の刊行に向けた事業数		6事業	8事業	
	研究発表会等の実施回数		未実施	毎年度実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	研究支援及び成果物の刊行				
	企画展・研究発表会検討		企画展・研究発表会実施		

4 施策及び今後の取組

基本方針Ⅳ 生涯にわたる学習を支援する

事業概要	おはなし会などの本に関する活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。				
これまでの取組	各図書館でのおはなし会については、ボランティア入門講座を行っておはなし会の担い手を育成し、職員とボランティアが協力して、おはなし会を実施しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）		目標値（2023年度）	
	地域で活動するボランティア向け講座の開催回数	1回		3回	
	地域で活動するボランティア向け講座への参加者数	26人		90人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ボランティア向け講座の実施、内容の検証・改善				
	新たな支援方法の検討		新たな支援の実施		

施策4 学習を支える環境づくりを進める

〈現状と課題〉

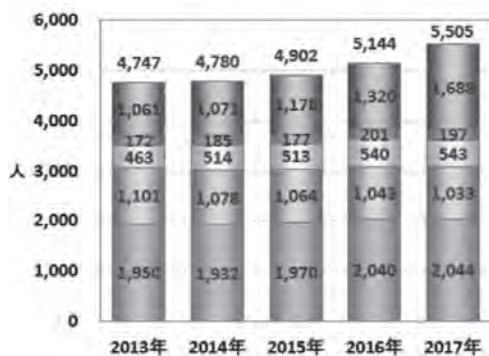
・様々な事情を抱え、公的な支援がなければ自由に学ぶことができない状況の人がいます。そのため、学びに対する支援を必要とする人のニーズを把握するとともに、学べる環境を整備する必要があります。

・学習講座の開催や本に親しむ環境づくりなどの取組は、行政だけではなく、市民団体などにも広がりを見せています。そのため、より効果的に学習事業を展開できるよう、これらの団体との連携・協力による取組をこれまで以上に充実していく必要があります。

・地域の歴史や文化は、その地域への誇りや愛着を生むきっかけとなるものであるため、その資源をしっかりと整備・保存・調査・研究等をし、広く市民に親しんでもらえる環境を整備する必要があります。

【関連データ】

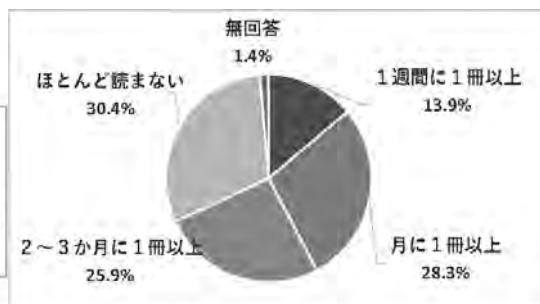
○町田市の外国人登録人口



外国人の住民登録者数は年々増加している。

<出典>町田市データブック2017

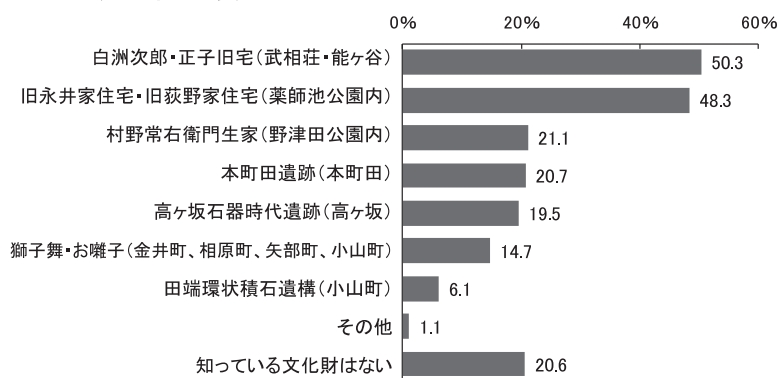
○本を読む頻度



3割の人は本をほとんど読まない。

<出典>町田市生涯学習に関する市民意識調査(2017実施)

○文化財の認知度



市内の文化財の認知度は一部をのぞき高くない。

<出典>町田市生涯学習に関する市民意識調査(2017実施)

〈施策の方向性〉

○支援を必要とする人への学習支援を行います。

- ・誰もが学べる環境を整備するため、社会的困難を抱えた人や在住外国人など、学びに対する支援を必要とする人への学習機会を充実します。
- ・文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人への支援を行います。

○多文化共生*の推進に向け国際交流センターとの共催で開催した「外国の音楽と踊りとお話と」



○関係機関とのネットワークづくりを進めます。

- ・学習事業を展開する関係機関との連携・協働による取組を展開していくための仕組みづくりを進めます。

○近隣の大学に通う学生との意見交換の様子
(市役所内各部署のイベント、講座等の担当職員が参加する生涯学習連絡会にて実施)



○文化資源の維持管理・調査・研究を進めます。

- ・遺跡や古民家、文学資料などの文化資源を良好な状態で後世に伝えられるよう、適正な維持管理を行います。
- ・市民はもとより、市外の多くの人に町田市の歴史や文化に関心をもってもらえるよう、貴重な文化資源の収集や、調査・研究を進めます。



○故遠藤周作氏の愛用品（文学館で収蔵）



○高ヶ坂石器時代遺跡*（牢場遺跡）敷石住居跡

目指す姿(成果指標)

成果指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
本を読む市民の割合 〔町田市生涯学習に関する市民意識調査〕	68%	73%
町田市内にある文化財の中で知っているものがある市民の割合 〔町田市生涯学習に関する市民意識調査〕	78%	83%

〈重点事業〉

- IV-4-1 支援が必要な人への学習機会の提供
- IV-4-2 本と出会う場所の創出
- IV-4-3 文化財の保存と活用環境の整備

* 多文化共生：国籍や民族などが異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、ともに生きていくこと。
* 高ヶ坂石器時代遺跡：牢場・稲荷山・八幡平遺跡の3地点からなる縄文時代の集落跡。国内で初めて敷石住居跡（牢場遺跡）が発見され、大正15年に国の史跡に指定された。

■重点事業Ⅳ-4-1 支援が必要な人への学習機会の提供		生涯学習センター			
事業概要	外国人居住者、障がい者、ひきこもり当事者など文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人の学習機会を保障するため、学習に関するニーズ調査を行い、関係機関と連携して学習機会を提供します。				
これまでの取組	障がい者を対象とした「障がい者青年学級」、ひきこもり当事者を対象とした居場所事業などを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	多文化共生に関する学習事業数		1事業	3事業	
	社会的困難を抱えた人への学習事業数		3事業	5事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各種学習事業の実施 関係機関への働きかけ				
	参加者アンケート等によるニーズ調査・ 事業内容への反映			市民意識 調査での ニーズ把握	新たな事 業の実施

■重点事業Ⅳ-4-2 本と出会う場所の創出		図書館			
事業概要	町田市内には大学図書館や地域文庫、まちライブラリー*など本にふれることができる施設が各地域にあります。こうした施設と図書館が連携して読書活動を推進する取組を進めるとともに、これらの施設の情報を集約した読書マップを作成します。				
これまでの取組	市民が利用可能な大学図書館やおはなし会を実施している団体の情報を収集し、図書館ホームページに掲載しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	読書活動推進にかかる連携施設数		20か所	25か所	
	読書マップの作成		未作成	作成・公開 (2020年度)	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	図書の貸出・閲覧やおはなし会がある市民利用施設との連携推進				
	本にふれる ことができる 施設の把握	マップの 作成・公開		マップの 更新	

*まちライブラリー：メッセージを付けた本を持ち寄り、カフェや病院、オフィスなど、まちの様々な場所に本棚や小さな図書館をつくり、本をきっかけに人とのつながりをもつ活動のこと。全国で620カ所を超えるといわれている（2018年8月末現在）。町田市内にも、保育園や高齢者施設の中に開設されている。

事業概要	発掘調査や環境整備によって、牢場遺跡・稻荷山遺跡・八幡平遺跡からなる高ヶ坂石器時代遺跡を維持保存できるようにし、文化財の魅力をより広く伝えられるよう積極的に公開活用します。				
これまでの取組	遺跡整備工事、現場公開を各年度実施しました。 2016年度：稻荷山遺跡工事・公開、八幡平遺跡工事 2017年度：牢場遺跡工事・公開 2018年度：牢場遺跡史跡公園用地買収、牢場遺跡工事、八幡平遺跡工事				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	高ヶ坂石器時代遺跡整備の進捗		整備着手	ガイダンス施設建設工事完了	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	八幡平遺跡整備工事	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地設計、ガイダンス施設基本計画	牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設基本設計・展示基本設計	ガイダンス施設実施設計・展示実施設計	ガイダンス施設建設工事